Roger と人工内耳 メドエル社 RONDO / OPUS スタンダード型 / DUET 2 オーディオプロセッサ

（ロンド　オーパス　デュエット）

このフィッティングガイドには、どのように Roger X とメドエル社の最新オーディオプロセッサを使用するべきか、Roger のパフォーマンスをよりもっとサポートするための詳細情報を記載しています。

オクラホマ州 Hearts for hearing 財団に所属する Jace Wolfe 氏の 2013 年の研究によると、人工内耳と Roger を使用することで特に 70 dB(A)から 80 dB(A)といった非常に騒がしい環境での言葉の聞き取りが、従来の FM やダイナミック FM よりも大幅に改善すると発表されています。

セットアップ

Roger 受信機をオーディオプロセッサに取り付ける方法は以下の 3 種類です。

オーディオプロセッサ		
RONDO	OPUS スタンダード型	DUET 2
Mini バッテリーユニット + Roger X	オーディオバッテリーカバー+ Roger X	Roger MyLink
受信機 / アダプター		

注）DUET 2 は、Roger MyLink と使用する以外に、MicroLink CI S と Red ロング・ケーブルで Roger X を使用することも可能です。

PHONAK life is on

使用方法

ステップ 1：Roger X を取り付ける
全ての機器を電源オフにします。

RONDO：
RONDO に Mini バッテリーユニットを取り付けます。
これで Roger X を差し込むことが出来ます。

OPUS スタンダード型：
OPUS スタンダード型のカラーバッテリーユニットカバーを取り外し、オーディオプロセッサにオーディオバッテリーカバーを取り付けます。これで Roger X が差し込むことが出来ます。

DUET 2：
Roger MyLink を装着し、電源をいれます。オーディオプロセッサはリモコンを使用し、MT に切り替えます。

ステップ 2：電源を入れる
オーディオプロセッサを装着し電源をオンにします。Roger X はオーディオプロセッサの入力音に合わせて、出力音を自動的に調節します。この調整中（約 1 分）Roger X からビープ音が 1〜2 回流れます。これで出力の値が保存されたので、次回からは短いビープ音 1 回だけが使用開始時に流れます。この作業が終わったら Roger マイクロホンの電源を入れます。

ステップ 3：追加する
Roger 送信機から 10 cm 以内に Roger X/Roger MyLink を近づけ、追加します。受信機が正しく追加されるとお知らせ音が鳴ります。お知らせ音が聞こえない場合、手動で DAI プログラムに切り替える必要があります。

ステップ 4：確認する
装用者の近くに立って Roger マイクロホンをミュートにし、まずは人工内耳のみで静かな環境下で語音明瞭度を測定します。その後、少なくとも 3m 離れた場所から Roger マイクロホンを使って語音明瞭度を測定します。いずれも聞こえ方に差がないように設定します。

トラブルシューティング

Roger マイクロホンからの音が聞こえない	
• Roger 受信機がネットワークに“追加”されていない • Roger マイクロホンの電源がオフになっている、もしくはミュートになっている • Roger マイクロホンが使用可能範囲外にある • 電池残量が足りない	➢ Roger マイクロホンで Roger 受信機をネットワークに“追加”する ➢ Roger マイクロホンの電源をオンにし、ミュートになっていないことを確認する（取扱説明書を参照） ➢ Roger マイクロホンが使用可能範囲に入るよう近付ける ➢ 新しい電池または十分に充電された電池に取り換える
オーディオプロセッサ側のマイクロホンからの音が小さい	
• マイクロホン感度	➢ プロセッサ側で FM プログラムのマイクロホン感度が減衰されていないか確認する
Roger マイクロホンからの音にノイズが入る	
• Roger マイクロホンと Roger 受信機が離れすぎている、もしくは他の障害物（例：身体など）で遮られている	➢ Roger マイクロホンと Roger 受信機の距離を縮める

リスニングチェック

製品名
ユニバーサルタイプ受信機チェッカーと Roger X
Roger X をユニバーサルタイプ受信機チェッカーのユーロプラグに差しこみます
アダプター / Roger 受信機

T コイルで Roger を使用する

DUET 2 以外の各プロセッサも T コイルを有効すれば、Roger MyLink を使用することが可能です。

RONDO：RONDO は T コイル内蔵型なので、マイクロホンが上に来るように RONDO を装着してください。

受信機の特別設定

自動音量調整

Roger からの音量を変更させたい場合、Roger inspiro を使って、Roger 受信機の利得を変更できます。Roger 送信機から 10 cm 以内に Roger X を近づけ、左シフトキーを押して**【Check】**を行います。受信機が正しくチェックされると詳細情報が Roger inspiro の画面に表示されます。右シフトキーを押して**【管理】**画面に進みます。**【自動音量調整】**を選択し **OK** を押します。これで受信機の利得を-8 から+8 の範囲で変更することが可能です。

基本的には受信機の設定を変更する必要はありませんが、自動モードで聞こえ方に問題がある際は下記に沿って設定を選択します。変更後は、オートコネクト機能とスタートアップ時のビープ音が無効になります。

1. オーディオプロセッサに Roger X を取り付けます。
2. Roger inspiro から 10 cm 以内に Roger X を近づけ、左シフトキーを押して**【Check】**を行います。
3. 右シフトキーを押して**【管理】**ページに進み、**【CI モジュール】**を選択して **OK** を押します。
4. **【設定 2】**を選択して、**OK** を押します。

Model	Roger X CI モジュールの設定
MED-EL RONDO	設定 2
MED-EL OPUS 2	設定 2